

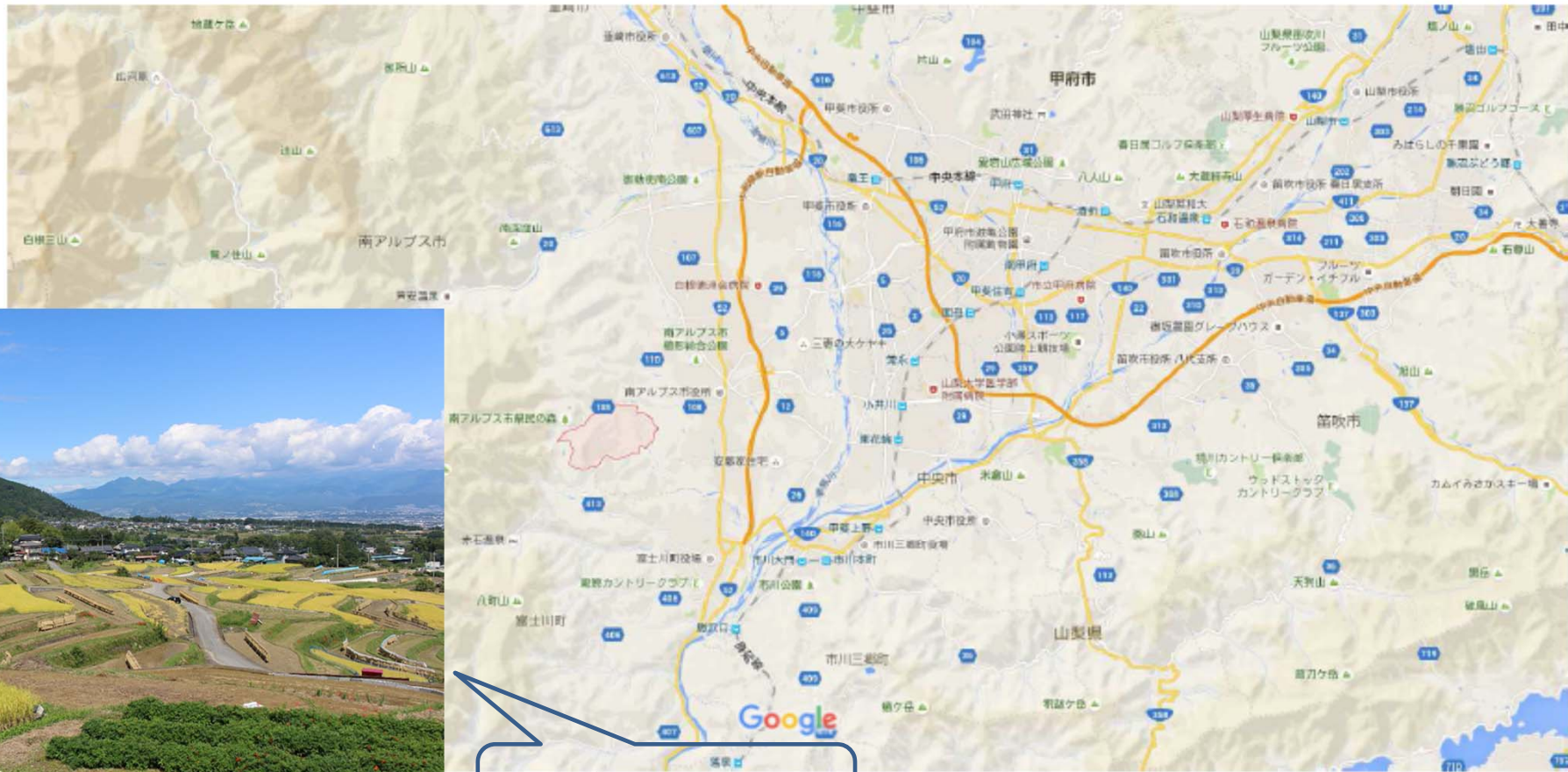
中野地区 花の街づくり 修景事業



中野区自治会 ふるさとを錦で飾り隊

# 中野地区位置

Google 〒400-0316 山梨県南アルプス市中野



中野地区の原風景です。  
H27年9月19日撮影

地図データ ©2016 Google, ZENRIN 2 km

# 中野区自治会 ふるさとを錦で飾り隊とは

- 中野地区「ふるさとを錦で飾り隊」は、農地の荒廃防止や景観の向上を目的に、平成27年6月 地元有志40～70才の約30名により結成された。
- 田舎の良さやここにしかない景観を自らが気付くことで、様々な問題を解決していくことができると考え、取組みを始めている。
- 中野地域の田舎らしさや景観を残すことは基より、更に自然と人間が共存共栄するために「美しい景観づくり」を目指すため、勉強会を重ね、自分自身が魅力に気付くことが大切であると考えており、「中野の魅力を磨き、まず地元の人」として、第一歩を歩みだした。
- 地域の課題は、地域で解決することが、重要であり、その上で行政に協力要請を求めていく姿勢は、今後もつらぬいていくことを心情としている。
- 景観の良い、田舎の風情のある集落を形成することで、地元の活性化、ゆとりのある生活ができる街になる。
- 自然と共存した、町並みにする。

## 休耕田で花栽培、柵塗り替え 景観美化へ住民組織

南ア・中野地区

南アルプス市中野地区の住民有志は、農地の荒廃防止や景観の向上を目的に「ふるさとを錦で飾り隊」（小野忠会長）を結成した。ガードレールの色の塗り替えや、休耕田で花の栽培などに取り組んでいる。

同隊は今年6月、40～70代までの約30人で結成した。小野会長によると、同地区は20年ほど前まで稲作が盛んだっ

たが、農家の高齢化で休耕田が増えたため、「地域が活力を失わないように景観を守りたい」（小野会長）と集まった。

メンバーは休耕田などの所有者から許可を得た上で、生い茂る草を刈り取って耕し、春に黄色の花を咲かせるシロカラシの種をまいた。また道沿いのガードレールは地域の景観に合うように白色から茶



色に塗り替えた。これまでに約3100平方

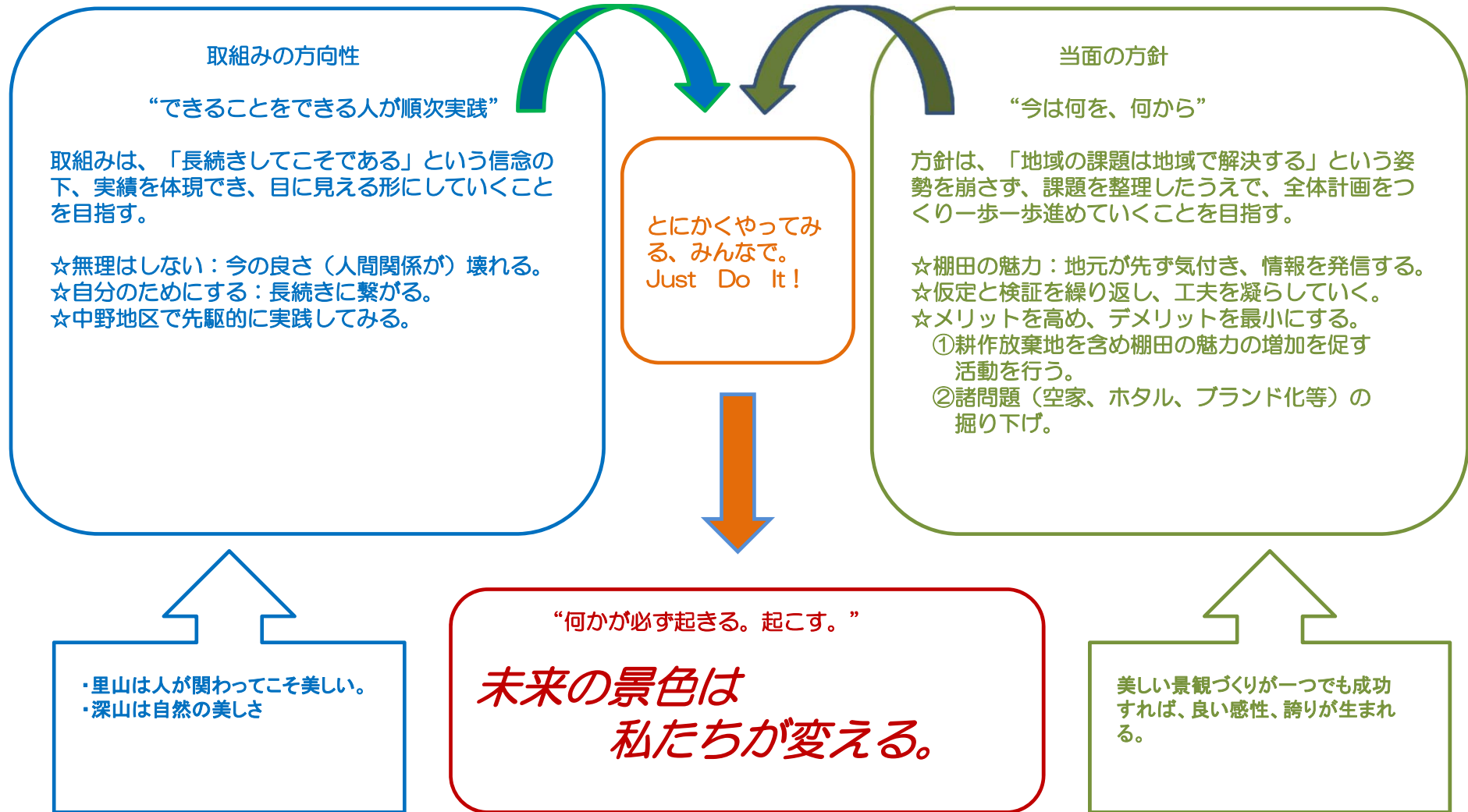
いなるまことにしている。

ガードレールを茶色に塗り替えるメンバー＝南アルプス市中野

の田んぼに種をまき、66分のガードレールを塗り替えた。将来は周辺地区とも協力し、市内全域に活動を広めていきたい考えた。

小野会長は「少しずつ活動を広げて住みよい、きれいなふるさとにしていきたい」と話している。

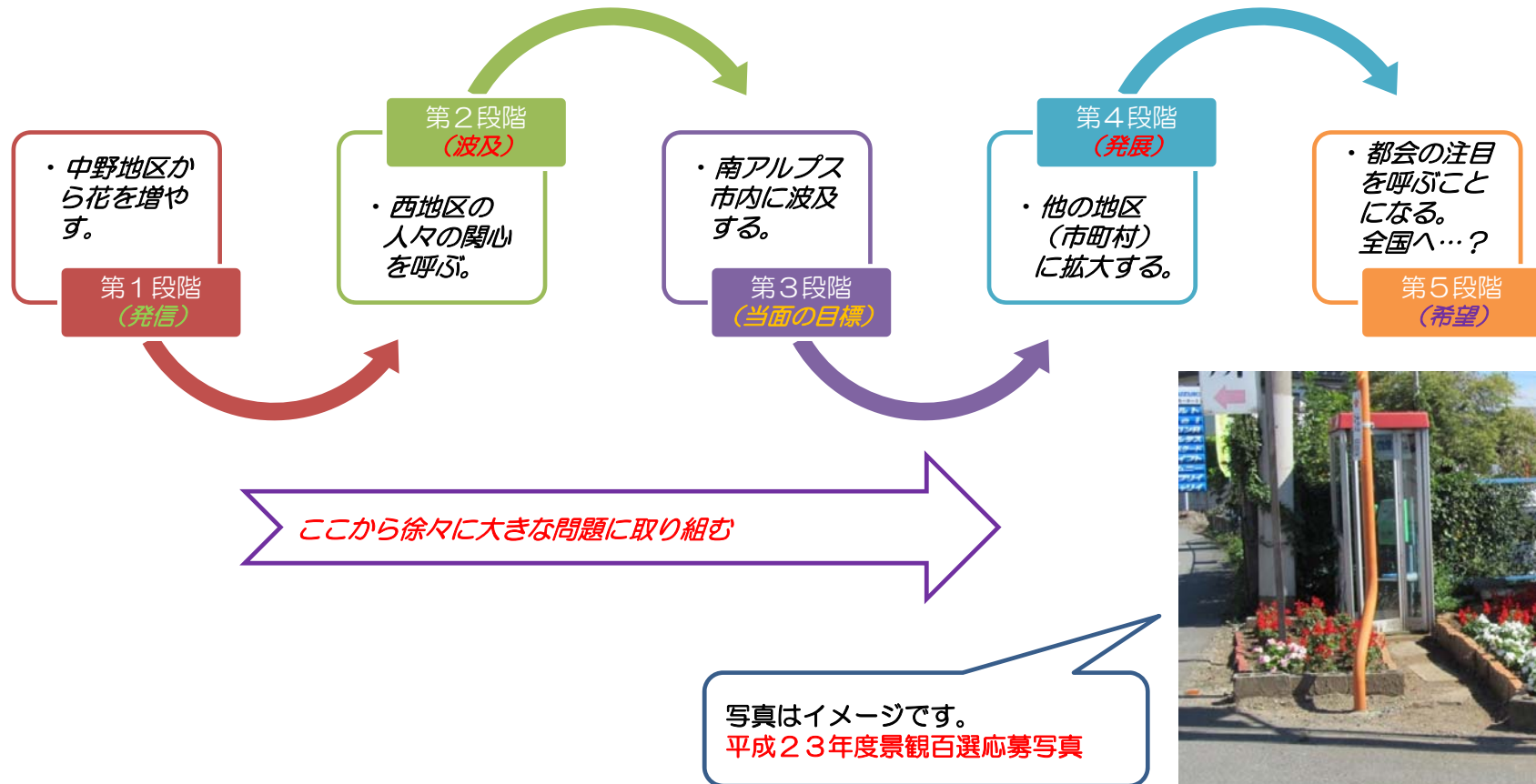
## 取組の概要及び姿勢（イメージ）



## ◎花の街 演出事業

3,100㎡の田んぼには種をまいた…来春には、花畑が現れる！

田んぼに限らず、ところどころに花を増やし、花いっぱいの街をめざす。  
(中野地区から発信して、広げられるだけ・・・)



## ガードレールのお色直し（景観との融和）

- 中野地区は、棚田の景観を保有している地域で、季節ごとにプロ・アマ問わず多くの写真家の皆様が撮影に訪れている。
- 中野地区の良好な景観を守ることは、自分たちの生活を守ることにつながり、自然と共生していくことになると考え、景観の保全の一環としてガードレールの色を変える事業を行っている。
- 平成27年8月30日、9月19日、12月6日に”ガードレールのお色直し”を行った。
- 使用する色は、事前の会合や勉強会等で意見を出し合い選択した、景観になじむ色として代表的なダークブラウンを使用した。
- 色については、ダークブラウンに限らず、勉強会を重ね、また、色彩専門の有識者等の意見を聞く機会を設けて、地元と市及び県、更には先進地の情報も考慮しながら、中野地区にあった色を模索する。

着手前



完成  
(9/19現在)



着手前  
(9/19現在)



完成  
(12/6日現在)



作業中



記念写真



## ◎「ふるさとを錦で飾り隊」事業（中野地区で展開する事業）

### ①モデル事業 ”北山ん田・お粧し” プロジェクト

第一弾 棚田の畦に彼岸花を！

第二弾 ガードレールのお色直し（景観との融和）

第三弾 棚田の田圃面への植栽

### ②遊休農地に花を…花の街づくり 棚田から！

⇒遊休農地を見逃せない！…しかし、何らかの事情、耕作できない理由がある！

花を植え育てることは⇒「所有者が自力で！」行ふことが基本であるが、みんなで活動することが大事！

「種と若干の助太刀は会で」…田舎暮らしで培われた人の和の精神！

第一弾 協力者（賛同者）の棚田で

第二弾 協力者（賛同者）の拡大、田んぼに関わらず畑に拡大

### ③公有地に花を！

堰野川（改修済）沿川の残地（河川改修事業の際の余り地）を花畑に！

現 状

- ・雑草や特定外来種等が繁茂してしまう。
- ・不法投棄が起きている。
- ・隣接耕作者の負担が大きい。
- ・河川は、法律により規制があるため、それを無視して事業は行えない。



河川改修後の公共用地が荒れている、地元も除草作業が大変



**花畑に！**

花の手入れは、誰でも参加できる



# 政策提案

## ○地域の課題

- 花の街 演出事業の全体計画づくり
- NPO活動団体との整合及び融合
- 女性の活躍
- 活動の発展（行政、企業等他分野の団体との共同事業を展開）

## ○行政としてできること

- 情報の提供…景観アドバイザー制度を用いた勉強会、先進地視察、各研究会への参加等
- 活動の広報…ホームページ、広報等により活動状況の広報活動
- 各手続支援…国、県、市各手続きの支援（施行承認、占用、協議）
- 財政的支援…資材の支給等
- 行政の意見を押し通さない…見守る！お互いの立場を尊重し、協議を行うことが重要

## ○個人としてできること

- 活動に参加する。
- 地元の方々と会話を行う。